

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

1 組

2025年度 前期

2025年度 前期

(講義)	科目名:キャリアデザイン I (入門)		講師:室山俊浩	
科目概要	キャリアデザイン I は、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標	日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方	
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待	
		第3回	日本の社会の会社	
		第4回	職業と職種とその特徴	
		第5回	日本の所得水準と社会福祉	
		第6回	近年日本の就職状況	
		第7回	就職に活動に関する事情	
		第8回	キャリアゴールの設定方法	
		第9回	効果的な目標設定	
		第10回	キャリアパスの構築	
		第11回	就職ための各種資格	
		第12回	日本の就職活動について	
		第13回	基本的な履歴書の作成	
		第14回	職務経歴書の作成	
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解	
		第16回	自己分析の手法をツール	
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見	
	第18回	自己分析シートの作成		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(講義)		科目名:リテールマーケティング		講師:岡野 純司	
科目概要		流通の役割や商品の流通経路、現代の流通の特徴など大きなテーマから、店舗販売の各業態の役割と仕組み、チェーンオペレーションの種類と仕組み、商業集積、無店舗販売、電子商取引などの役割と仕組みなどについて、基本的な内容を学ぶ。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は小売企業で経理、総務分野の管理職としての実務経験のある講師が担当する。			
学習目標		流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	流通の役割①:必要性など		
		第2回	流通の役割②:小売業・卸売業		
		第3回	商品の分類		
		第4回	商品の流通経路		
		第5回	現代の流通の特徴		
		第6回	販売形態の種類と特徴		
		第7回	店舗販売と無店舗販売		
		第8回	店舗販売の業態①:一般小売店・百貨店		
		第9回	店舗販売の業態②:総合スーパー・食品スーパー		
		第10回	店舗販売の業態③:専門店・ホームセンター・ドラッグストア		
		第11回	店舗販売の業態④:コンビニエンスストア		
		第12回	店舗販売の業態⑤:ディスカウントストア・均一価格店・無人販売		
		第13回	チェーンオペレーション①:定義、ボランタリーチェーン		
		第14回	チェーンオペレーション②:フランチャイズチェーン、レギュラーチェーンなど		
		第15回	商業集積		
		第16回	無店舗販売		
		第17回			
	第17回	店舗販売と無店舗販売の競合			
	第18回	電子商取引			
試験	第19回	期末試験			
	成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
		期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
授業内評価		30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT ストラテジー I		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
		教科書			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス		
		第2回	損益分岐点		
		第3回	財務諸表		
		第4回	在庫管理と発注方式		
		第5回	減価償却		
		第6回	税金とインボイス		
		第7回	会社組織		
		第8回	業務改善サイクル		
		第9回	ガバナンスとコンプライアンス		
		第10回	労務管理		
		第11回	問題演習		
		第12回	データ活用		
		第13回	データの種類と可視化		
		第14回	基本的な統計手法		
		第15回	AI		
		第16回	生成AI		
		第17回	AIで使われる技術		
	第17回	AIで使われる技術			
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(演習)		科目名: AI活用法 I		講師: 若林優哉	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション: AIとは何か		
		第2回	テキスト生成AI入門		
		第3回	AIでメール文を作成しよう		
		第4回	AIに文章を直してもらおう		
		第5回	マインドマップを作成しよう		
		第6回	マーケティング戦略を立てる		
		第7回	アイデア出し(ブレインストーミング)		
		第8回	文字起こし、議事録作成		
		第9回	Excelで利用する(1)		
		第10回	Excelで利用する(2)		
		第11回	PowwrPointのスライドを作る		
		第12回	英語(日本語)学習をする		
		第13回	PDFの内容を要約する		
		第14回	ニュース検索・要約		
		第15回	スピーチを作る		
		第16回	RPGで遊ぶ		
		第17回	占いをする		
	第18回	Youtube動画の要約をする			
	成績評価	試験	第19回	期末試験	
出席率			30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
期 末 試 験			40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
備考	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
	①遅刻・欠席をしないこと。				
	②筆記具を必ずもってくること。				
	③指定された座席で受講すること。				
	④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。				
	以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。				

2025年度 前期

(演習)	科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子
科目概要	この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集、フォーマット設定から、表や画像の挿入、テンプレートの活用方法まで、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者から中級者を対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。		
学習目標	Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 効果的な文書作成のためのフォーマットやスタイルを適切に活用できる。 表、画像、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	基本的な操作
		第2回	書式設定①
		第3回	書式設定②
		第4回	ページレイアウトとセクション設定
		第5回	表の作成と編集①
		第6回	表の作成と編集②
		第7回	リストの管理
		第8回	図やテキストボックスの挿入
		第9回	図やテキストボックスの書式設定など
		第10回	復習
		第11回	参考資料の作成
		第12回	ヘッダーとフッターの詳細設定
		第13回	文書の管理、印刷設定とエクスポート
		第14回	文書の校閲と共有
		第15回	総復習①
		第16回	総復習②
		第17回	総復習③
		第18回	試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

2025年度 前期

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	コミュニケーションのはじまりと言葉の獲得		
		第8回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第9回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第10回	性格と人間関係(1)		
		第11回	性格と人間関係(2)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第17回	友人関係・恋愛関係(2)		
	第18回	期末試験の準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)	科目名: Webサイト I	講師: 若林優哉
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。	
学習目標	「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。	
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)
授業計画	授業	回数 授業内容
		第1回 webサイトとは
		第2回 webサイトの種類
		第3回 webサイトの目的と利用方法
		第4回 webサイトの開発について
		第5回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)
		第6回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)
		第7回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)
		第8回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)
		第9回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)
		第10回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)
		第11回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)
		第12回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)
		第13回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)
		第14回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)
		第15回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)
		第16回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)
		第17回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)
	試験	第18回 webサイト 研究発表(まとめ)
成績評価	出席率	30点 期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点 30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点 授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。
		②筆記具を必ずもってくること。
		③指定された座席で受講すること。
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。

(演習)		科目名:Webデザイン I		講師:保田涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてインターネット接続サービスの運用、保守のほか、サーバーやネットワークの情報システムの管理業務に携わり、情報系の試験やファイナンシャルプランナーなどの資格も持つ講師が担当する。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
		教科書		授業でプリントなど配布します	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
			第17回		
		第17回	前期まとめ演習		
		第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	基礎理論その1 離散数学		
		第3回	基礎理論その2 応用数学		
		第4回	基礎理論その3 情報に関する理論		
		第5回	基礎理論その4 データの構造		
		第6回	基礎理論その5 アルゴリズム		
		第7回	基礎理論その6 プログラミング・プログラム言語		
		第8回	基礎理論その7 マークアップ言語		
		第9回	コンピュータシステムその1 プロセッサ		
		第10回	コンピュータシステムその2 記憶装置		
		第11回	コンピュータシステムその3 出力デバイス		
		第12回	コンピュータシステムその4 システムの構成		
		第13回	コンピュータシステムその5 システムの評価指標		
		第14回	コンピュータシステムその6 OS(オペレーティングシステム)		
		第15回	コンピュータシステムその7 ファイル管理		
		第16回	コンピュータシステムその8 オフィスツール		
		第17回	コンピュータシステムその9 OSSとハードウェア		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ず持って来ること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。			
		以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する(欠席として扱うこともあり、注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)		科目名: SNS I		講師: 若林 優哉	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から実践的な活用方法まで学習します。主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深めます。また、ビジネスや社会活動におけるSNSの効果的な活用方法についても学びます。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けができる ・SNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
教科書		授業でプリントなど配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要		
		第3回	Instagramの特徴について		
		第4回	Instagramのアカウントのコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析		
		第5回	Instagramのアカウントの作成(1)		
		第6回	Instagramのアカウントの作成(2)		
		第7回	Instagramのフィード投稿(1) 画像		
		第8回	Instagramのフィード投稿(2) 画像		
		第9回	Instagramのフィード投稿(3) 画像		
		第10回	Instagramのフィード投稿(4) リール動画		
		第11回	Instagramのフィード投稿(5) リール動画		
		第12回	Instagramのフィード投稿(6) リール動画		
		第13回	Instagramのフィード投稿(7) リール動画		
		第14回	Instagramuのストーリーズ(1)		
		第15回	Instagramuのストーリーズ(2)		
		第16回	Instagramuのストーリーズ(3)		
		第17回	投稿の分析と発表(1)		
	第18回	投稿の分析と発表(2)			
	成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
期末試験		40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
授業内評価		30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(演習)		科目名:画像・動画編集 I		講師:若林優哉	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで、実際の制作プロセスに沿って学習します。			
学習目標		・画像編集ソフトウェア(Canva)の基本操作を習得し、写真の色調補正や加工ができる ・動画編集ソフトウェア(Capcut)を使用して基本的な動画制作ができる			
教科書		授業でプリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	写真の撮影・編集(1)		
		第3回	写真の撮影・編集(2)		
		第4回	写真の撮影・編集(3)		
		第5回	写真の撮影・編集(4)		
		第6回	写真の撮影・編集(5)		
		第7回	写真の撮影・編集(6)		
		第8回	写真の撮影・編集(7)		
		第9回	写真の撮影・編集(8)		
		第10回	動画の撮影・編集(1)		
		第11回	動画の撮影・編集(2)		
		第12回	動画の撮影・編集(3)		
		第13回	動画の撮影・編集(4)		
		第14回	動画の撮影・編集(5)		
		第15回	動画の撮影・編集(6)		
		第16回	動画の撮影・編集(7)		
		第17回	投稿の分析と発表(1)		
	第18回	投稿の分析と発表(2)			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:ビジネスリテラシー I		講師:徐誠敏	
科目概要		ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。			
学習目標		・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	イントロダクション		
		第2回	ビジネスリテラシーと社会人基礎力の自己診断		
		第3回	働く意味・意義と働き方の種類		
		第4回	第1次・第2次・第3次産業と職業		
		第5回	第4次・第5次・第6次産業と職業		
		第6回	マーケティングリテラシー		
		第7回	ブランディングリテラシー		
		第8回	顧客理解と顧客価値創造		
		第9回	顧客対応と営業スキル		
		第10回	ビジネスコミュニケーションスキル I		
		第11回	ビジネスコミュニケーションスキル II		
		第12回	チームワークとリーダーシップ		
		第13回	プレゼンテーションスキルとプロジェクトマネジメント I		
		第14回	プレゼンテーションスキルとプロジェクトマネジメント II		
		第15回	プレゼンテーションとフィードバック I		
		第16回	プレゼンテーションとフィードバック II		
		第17回			
	第17回	プレゼンテーションとフィードバック III			
	第18回	総括と復習			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

2 組

(講義)		科目名: SNS I		講師: 小川実花	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から特定のSNSにて実践的な活用方法まで学習します。 主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深め、SNSが社会、文化、コミュニケーションに与える影響を多角的に研究します。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けができる ・使用するSNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
		教科書		授業でプリントなど配布します	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション・SNSマーケティングとは		
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要/AIDMA理論		
		第3回	Instagramの特徴・データプライバシーと倫理的課題		
		第4回	Instagramのアカウントコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析		
		第5回	Instagramのアカウントコンセプト: コンテンツプランニング 質的・量的アプローチの比較		
		第6回	Instagramアカウントの開設と設定		
		第7回	Instagramフィード投稿(1) 画像		
		第8回	Instagramフィード投稿(2) 画像		
		第9回	制作物・運用レポートの提出		
		第10回	Instagramフィード投稿(4) リール動画		
		第11回	Instagramフィード投稿(5) リール動画		
		第12回	Instagramフィード投稿(6) リール動画		
		第13回	制作物・運用レポート作成・提出		
		第14回	Instagramストーリーズ(1)		
		第15回	Instagramストーリーズ(2)		
		第16回	分析ツールの使い方とデータの見方・自己データを使った演習・レポート作成		
		第17回	自己アカウントの分析・改善案の発表・プレゼンテーション		
	第18回	前期リフレクション・フォロー、期末試験準備			
		試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(演習)		科目名:画像・動画編集 I		講師: 小川実花	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで学習します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業でWEBデザイナーとして業績を積み、その後、企業のマーケティング部門でも業績を積んできた講師が担当する。			
学習目標		・Canvaを用いた画像編集スキル を習得し、写真の補正・デザインができる。 ・Canvaの動画編集機能を活用 し、SNS向けの短尺動画を制作できる。 ・SNSやWEBサイトで活用するコンテンツ制作 を意識し、ターゲットに適した画像・動画を作成できる。			
教科書		授業でプリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:授業の進め方、学習目標の確認		
		第2回	基本操作①:画像編集の基本(写真のトリミング・色調補正)		
		第3回	基本操作②:画像編集の基本操作②(フォント・レイアウトの活用)		
		第4回	バナー作成①:Instagramフィード投稿のデザイン		
		第5回	バナー作成②:ストーリーズ投稿のデザイン		
		第6回	バナー作成③:インフォグラフィックスの作成		
		第7回	実践課題①: SNSに適した画像を作成 (SNS I と連動)		
		第8回	実践課題②: SNSに適した画像を作成 (SNS I と連動)		
		第9回	発表・フィードバック		
		第10回	動画編集①:基本操作(カット・テキスト挿入)		
		第11回	動画編集②: BGM・効果音の追加		
		第12回	動画編集③:アニメーション機能を活用		
		第13回	実践課題:リール動画の作成		
		第14回	動画編集④:プロモーション動画制作		
		第15回	動画編集⑤:プロモーション動画制作		
		第16回	動画編集⑥:プロモーション動画制作		
		第17回	発表・フィードバック		
	第18回	前期リフレクション・フォロー、期末試験準備			
	成績評価	試験	第19回	期末試験	
出席率			30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
期末試験			40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
成績評価	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
	備考	①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
③指定された座席で受講すること。					
④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。					
以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。					

2025年度 前期

(演習)		科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集、フォーマット設定から、表や画像の挿入、テンプレートの活用方法まで、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者から中級者を対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 効果的な文書作成のためのフォーマットやスタイルを適切に活用できる。 表、画像、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	基本的な操作		
		第2回	書式設定①		
		第3回	書式設定②		
		第4回	ページレイアウトとセクション設定		
		第5回	表の作成と編集①		
		第6回	表の作成と編集②		
		第7回	リストの管理		
		第8回	図やテキストボックスの挿入		
		第9回	図やテキストボックスの書式設定など		
		第10回	復習		
		第11回	参考資料の作成		
		第12回	ヘッダーとフッターの詳細設定		
		第13回	文書の管理、印刷設定とエクスポート		
		第14回	文書の校閲と共有		
		第15回	総復習①		
		第16回	総復習②		
		第17回	総復習③		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 前期

2025年度 前期		(演習)		科目名:AI活用法 I		講師:若林優哉	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。					
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。					
教科書		プリントなど配布します。					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容				
		第1回	オリエンテーション:AIとは何か				
		第2回	テキスト生成AI入門				
		第3回	AIでメール文を作成しよう				
		第4回	AIに文章を直してもらおう				
		第5回	マインドマップを作成しよう				
		第6回	マーケティング戦略を立てる				
		第7回	アイデア出し(ブレインストーミング)				
		第8回	文字起こし、議事録作成				
		第9回	Excelで利用する(1)				
		第10回	Excelで利用する(2)				
		第11回	PowwrPointのスライドを作る				
		第12回	英語(日本語)学習をする				
		第13回	PDFの内容を要約する				
		第14回	ニュース検索・要約				
		第15回	スピーチを作る				
		第16回	RPGで遊ぶ				
		第17回	占いをする				
	第18回	Youtube動画の要約をする					
	成績評価	試験	第19回	期末試験			
出席率			30点	期末試験の出席は1回に含みません。			
期末試験			40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。			
備考	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。				
			①遅刻・欠席をしないこと。				
			②筆記具を必ずもつてくること。				
			③指定された座席で受講すること。				
			④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。				
			以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。				

2025年度 前期

(講義)		科目名:キャリアデザイン I (入門)		講師:姜美松	
科目概要		キャリアデザイン I は、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待		
		第3回	日本の社会の会社		
		第4回	職業と職種とその特徴		
		第5回	日本の所得水準と社会福祉		
		第6回	近年日本の就職状況		
		第7回	就職に活動に関する事情		
		第8回	キャリアゴールの設定方法		
		第9回	効果的な目標設定		
		第10回	キャリアパスの構築		
		第11回	就職ための各種資格		
		第12回	日本の就職活動について		
		第13回	基本的な履歴書の作成		
		第14回	職務経歴書の作成		
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第16回	自己分析の手法をツール		
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見		
	第18回	自己分析シートの作成			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 前期

(講義)		科目名: Webサイト I		講師: 若林優哉	
科目概要		Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上のページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標		「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。			
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	webサイトとは		
		第2回	webサイトの種類		
		第3回	webサイトの目的と利用方法		
		第4回	webサイトの開発について		
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)		
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)		
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)		
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)		
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)		
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)		
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)		
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)		
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)		
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)		
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)		
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)		
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)		
	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	コミュニケーションのはじまりと言葉の獲得		
		第8回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第9回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第10回	性格と人間関係(1)		
		第11回	性格と人間関係(2)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第17回	友人関係・恋愛関係(2)		
	第18回	期末試験の準備			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)	科目名:リテールマーケティング		講師:姜美松
科目概要	流通における小売業の役割や流通経路別小売業の役割、形態別小売業の役割など大きなテーマから、具体的な店舗形態別小売業の役割、チェーンストアの役割、商業集積の役割と仕組みなどについて基本的な内容を学ぶ。		
学習目標	流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。		
教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	小売業とは	
	第2回	中小小売業の現状と役割	
	第3回	組織小売業の種類と特徴	
	第4回	チェーンストアの基本的役割	
	第5回	チェーンオペレーションの基本知識	
	第6回	チェーンストア組織と運営管理	
	第7回	販売形態の種類と特徴	
	第8回	インターネット社会と小売業	
	第9回	店舗形態別小売業の種類①専門店	
	第10回	店舗形態別小売業の種類②百貨店	
	第11回	店舗形態別小売業の種類③総合品ぞろえスーパー(GMS)	
	第12回	店舗形態別小売業の種類④よんスーパーマーケット(SM)	
	第13回	店舗形態別小売業の種類⑤ホームセンター(HC)	
	第14回	店舗形態別小売業の種類⑥ドラッグストア(DgS)	
	第15回	店舗形態別小売業の種類⑦コンビニエンスストア(CVS)	
	第16回	店舗形態別小売業の種類⑧スーパーセンター(SuC)	
	第17回	商店街の種類と特徴	
	第18回	ショッピングセンターの種類と特徴	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもって来ること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	基礎理論その1 離散数学		
		第3回	基礎理論その2 応用数学		
		第4回	基礎理論その3 情報に関する理論		
		第5回	基礎理論その4 データの構造		
		第6回	基礎理論その5 アルゴリズム		
		第7回	基礎理論その6 プログラミング・プログラム言語		
		第8回	基礎理論その7 マークアップ言語		
		第9回	コンピュータシステムその1 プロセッサ		
		第10回	コンピュータシステムその2 記憶装置		
		第11回	コンピュータシステムその3 出力デバイス		
		第12回	コンピュータシステムその4 システムの構成		
		第13回	コンピュータシステムその5 システムの評価指標		
		第14回	コンピュータシステムその6 OS(オペレーティングシステム)		
		第15回	コンピュータシステムその7 ファイル管理		
		第16回	コンピュータシステムその8 オフィスツール		
		第17回	コンピュータシステムその9 OSSとハードウェア		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ず持って来ること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。			
		以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する（欠席として扱うこともあり、注意すること）。			

(演習)		科目名:Webデザイン I		講師:保田涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてインターネット接続サービスの運用、保守のほか、サーバーやネットワークの情報システムの管理業務に携わり、情報系の試験やファイナンシャルプランナーなどの資格も持つ講師が担当する。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
		教科書		授業でプリントなど配布します	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
			第17回		
		第17回	前期まとめ演習		
		第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT ストラテジー I		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
		教科書			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス		
		第2回	損益分岐点		
		第3回	財務諸表		
		第4回	在庫管理と発注方式		
		第5回	減価償却		
		第6回	税金とインボイス		
		第7回	会社組織		
		第8回	業務改善サイクル		
		第9回	ガバナンスとコンプライアンス		
		第10回	労務管理		
		第11回	問題演習		
		第12回	データ活用		
		第13回	データの種類と可視化		
		第14回	基本的な統計手法		
		第15回	AI		
		第16回	生成AI		
		第17回	AIで使われる技術		
	第17回	AIで使われる技術			
	第18回	まとめ、試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:ビジネスリテラシー I		講師:徐誠敏	
科目概要		ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。			
学習目標		・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	イントロダクション		
		第2回	ビジネスリテラシーと社会人基礎力の自己診断		
		第3回	働く意味・意義と働き方の種類		
		第4回	第1次・第2次・第3次産業と職業		
		第5回	第4次・第5次・第6次産業と職業		
		第6回	マーケティングリテラシー		
		第7回	ブランディングリテラシー		
		第8回	顧客理解と顧客価値創造		
		第9回	顧客対応と営業スキル		
		第10回	ビジネスコミュニケーションスキル I		
		第11回	ビジネスコミュニケーションスキル II		
		第12回	チームワークとリーダーシップ		
		第13回	プレゼンテーションスキルとプロジェクトマネジメント I		
		第14回	プレゼンテーションスキルとプロジェクトマネジメント II		
		第15回	プレゼンテーションとフィードバック I		
		第16回	プレゼンテーションとフィードバック II		
		第17回			
	第17回	プレゼンテーションとフィードバック III			
	第18回	総括と復習			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

3 組

(講義)		科目名:リテールマーケティング		講師:岡野 純司	
科目概要		流通の役割や商品の流通経路、現代の流通の特徴など大きなテーマから、店舗販売の各業態の役割と仕組み、チェーンオペレーションの種類と仕組み、商業集積、無店舗販売、電子商取引などの役割と仕組みなどについて、基本的な内容を学ぶ。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は小売企業で経理、総務分野の管理職としての実務経験のある講師が担当する。			
学習目標		流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。			
		教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	流通の役割①:必要性など		
		第2回	流通の役割②:小売業・卸売業		
		第3回	商品の分類		
		第4回	商品の流通経路		
		第5回	現代の流通の特徴		
		第6回	販売形態の種類と特徴		
		第7回	店舗販売と無店舗販売		
		第8回	店舗販売の業態①:一般小売店・百貨店		
		第9回	店舗販売の業態②:総合スーパー・食品スーパー		
		第10回	店舗販売の業態③:専門店・ホームセンター・ドラッグストア		
		第11回	店舗販売の業態④:コンビニエンスストア		
		第12回	店舗販売の業態⑤:ディスカウントストア・均一価格店・無人販売		
		第13回	チェーンオペレーション①:定義、ボランタリーチェーン		
		第14回	チェーンオペレーション②:フランチャイズチェーン、レギュラーチェーンなど		
		第15回	商業集積		
		第16回	無店舗販売		
		第17回			
	第17回	店舗販売と無店舗販売の競合			
	第18回	電子商取引			
成績評価	試験	第19回	期末試験		
		出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
		期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
		授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

2025年度 前期					
(演習)		科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集、フォーマット設定から、表や画像の挿入、テンプレートの活用方法まで、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者から中級者を対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 効果的な文書作成のためのフォーマットやスタイルを適切に活用できる。 表、画像、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	基本的な操作		
		第2回	書式設定①		
		第3回	書式設定②		
		第4回	ページレイアウトとセクション設定		
		第5回	表の作成と編集①		
		第6回	表の作成と編集②		
		第7回	リストの管理		
		第8回	図やテキストボックスの挿入		
		第9回	図やテキストボックスの書式設定など		
		第10回	復習		
		第11回	参考資料の作成		
		第12回	ヘッダーとフッターの詳細設定		
		第13回	文書の管理、印刷設定とエクスポート		
		第14回	文書の校閲と共有		
		第15回	総復習①		
		第16回	総復習②		
		第17回	総復習③		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)		科目名:ビジネスリテラシー I		講師:今井克哉	
科目概要		ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。			
学習目標		・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ビジネス実務の基本		
		第2回	コミュニケーションスキル I		
		第3回	コミュニケーションスキル II		
		第4回	チームワークとリーダーシップ		
		第5回	ビジネスマナーとエチケット		
		第6回	ビジネス文書作成 I		
		第7回	ビジネス文書作成 II		
		第8回	問題解決スキル I		
		第9回	問題解決スキル II		
		第10回	プレゼンテーションスキル I		
		第11回	プレゼンテーションスキル II		
		第12回	プレゼンテーションの練習		
		第13回	時間管理と優先順位付け		
		第14回	ファイナンスリテラシー		
		第15回	顧客対応と営業スキル		
		第16回	プロジェクトマネジメント I		
		第17回	プロジェクトマネジメント II		
	第18回	総括と復習			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

2025年度 前期

(演習)	科目名:Webデザイン I			講師:若林優哉	
科目概要	本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。				
学習目標	HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。				
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
		第17回	前期まとめ演習		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

2025年度 前期

(講義)		科目名:キャリアデザイン I (入門)		講師:姜美松	
科目概要		キャリアデザイン I は、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待		
		第3回	日本の社会の会社		
		第4回	職業と職種とその特徴		
		第5回	日本の所得水準と社会福祉		
		第6回	近年日本の就職状況		
		第7回	就職に活動に関する事情		
		第8回	キャリアゴールの設定方法		
		第9回	効果的な目標設定		
		第10回	キャリアパスの構築		
		第11回	就職ための各種資格		
		第12回	日本の就職活動について		
		第13回	基本的な履歴書の作成		
		第14回	職務経歴書の作成		
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第16回	自己分析の手法をツール		
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見		
	第18回	自己分析シートの作成			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)		科目名:ITストラテジー I		講師:深谷高史	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を推進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書		[令和7年度]いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集(SBクリエイティブ)			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験の概要と勉強方法		
		第2回	企業活動		
		第3回	企業の責任		
		第4回	経営資源		
		第5回	経営組織		
		第6回	業績分析と業務計画		
		第7回	経営者の意思決定と問題解決手法		
		第8回	損益分岐点		
		第9回	財務諸表と5つの利益		
		第10回	3つの知的財産権		
		第11回	産業財産権とその他の権利		
		第12回	セキュリティ関連法規		
		第13回	労働関連法規と取引関連法規		
		第14回	その他の法律		
		第15回	標準化		
		第16回	経営戦略とSWOT分析		
		第17回	倫理規定と標準化		
	第17回	PPM(Product Portfolio Management)			
	第18回	まとめ、試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと			
		②筆記具を必ずもってくること			
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	コミュニケーションのはじまりと言葉の獲得		
		第8回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第9回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第10回	性格と人間関係(1)		
		第11回	性格と人間関係(2)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第17回	友人関係・恋愛関係(2)		
	第18回	期末試験の準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

2025年度 前期

(講義)	科目名:IT テクノロジー I		講師:室山俊浩	
科目概要	ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標	ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書				
授業計画	授業	回数	授業 内容	
		第1回	ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性	
		第2回	基礎理論その1 離散数学	
		第3回	基礎理論その2 応用数学	
		第4回	基礎理論その3 情報に関する理論	
		第5回	基礎理論その4 データの構造	
		第6回	基礎理論その5 アルゴリズム	
		第7回	基礎理論その6 プログラミング・プログラム言語	
		第8回	基礎理論その7 マークアップ言語	
		第9回	コンピュータシステムその1 プロセッサ	
		第10回	コンピュータシステムその2 記憶装置	
		第11回	コンピュータシステムその3 出力デバイス	
		第12回	コンピュータシステムその4 システムの構成	
		第13回	コンピュータシステムその5 システムの評価指標	
		第14回	コンピュータシステムその6 OS(オペレーティングシステム)	
		第15回	コンピュータシステムその7 ファイル管理	
		第16回	コンピュータシステムその8 オフィスツール	
		第17回	コンピュータシステムその9 OSSとハードウェア	
	第18回	まとめ、試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(講義)	科目名: SNS I		講師: 保田涼佑
科目概要	現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から実践的な活用方法まで学習します。主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深めます。また、ビジネスや社会活動におけるSNSの効果的な活用方法についても学びます。		
学習目標	・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けができる ・SNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる		
教科書		授業でプリントなど配布します	
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	オリエンテーション
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要
		第3回	Instagramの特徴について
		第4回	Instagramのアカウントのコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析
		第5回	Instagramのアカウントの作成(1)
		第6回	Instagramのアカウントの作成(2)
		第7回	Instagramのフィード投稿(1) 画像
		第8回	Instagramのフィード投稿(2) 画像
		第9回	Instagramのフィード投稿(3) 画像
		第10回	Instagramのフィード投稿(4) リール動画
		第11回	Instagramのフィード投稿(5) リール動画
		第12回	Instagramのフィード投稿(6) リール動画
		第13回	Instagramのフィード投稿(7) リール動画
		第14回	Instagramuのストーリーズ(1)
		第15回	Instagramuのストーリーズ(2)
		第16回	Instagramuのストーリーズ(3)
		第17回	Instagramuのストーリーズ(4)
		第17回	投稿の分析と発表(1)
		第18回	投稿の分析と発表(2)
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(演習)		科目名:画像・動画編集 I		講師:保田涼佑	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで、実際の制作プロセスに沿って学習します。			
学習目標		・画像編集ソフトウェア (Canva) の基本操作を習得し、写真の色調補正や加工ができる ・動画編集ソフトウェア (Capcut) を使用して基本的な動画制作ができる			
教科書		授業でプリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	写真の撮影・編集(1)		
		第3回	写真の撮影・編集(2)		
		第4回	写真の撮影・編集(3)		
		第5回	写真の撮影・編集(4)		
		第6回	写真の撮影・編集(5)		
		第7回	写真の撮影・編集(6)		
		第8回	写真の撮影・編集(7)		
		第9回	写真の撮影・編集(8)		
		第10回	動画の撮影・編集(1)		
		第11回	動画の撮影・編集(2)		
		第12回	動画の撮影・編集(3)		
		第13回	動画の撮影・編集(4)		
		第14回	動画の撮影・編集(5)		
		第15回	動画の撮影・編集(6)		
		第16回	動画の撮影・編集(7)		
		第17回			
	第17回	投稿の分析と発表(1)			
	第18回	投稿の分析と発表(2)			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)	科目名: Webサイト I	講師: 若林優哉
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上のページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。	
学習目標	「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。	
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)
授業計画	授業	回数 授業内容
		第1回 webサイトとは
		第2回 webサイトの種類
		第3回 webサイトの目的と利用方法
		第4回 webサイトの開発について
		第5回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)
		第6回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)
		第7回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)
		第8回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)
		第9回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)
		第10回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)
		第11回 webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)
		第12回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)
		第13回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)
		第14回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)
		第15回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)
		第16回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)
		第17回 webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)
	試験	第18回 webサイト 研究発表(まとめ) 第19回 期末試験
成績評価	出席率	30点 期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点 30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点 授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。
		②筆記具を必ずもってくること。
		③指定された座席で受講すること。
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。

(演習)		科目名:AI活用法 I		講師:西野公啓	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。 (実務を有する講師による授業の補足) 当科目はソフトウェア開発会社にてSEとして携わり、またWEBサイト制作、ECサイト構築、他、IT関連ビジネスを手掛けるIT会社を長年経営し、現在、AIシステム開発を主事業とする会社にてITコンサルを勤める講師が担当する。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
		教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション: AIを使って自己紹介(グループワーク)		
		第2回	AI(ChatGPT)へ自分の情報を与え、相談相手になってもらう		
		第3回	AI(ChatGPT)に語学学習のサポートをさせる		
		第4回	スマホ版ChatGPTアプリ		
		第5回	文章を作るAI(ChatGPT)		
		第6回	画像を作るAI(ChatGPT)		
		第7回	表計算ソフト(EXCEL)とAI(ChatGPT)のコラボ		
		第8回	AI(ChatGPT)を使ってプレゼンの準備		
		第9回	AIを使ってアルバイト面接の練習(グループワーク)		
		第10回	職場で色々使えるAI(グループワーク)		
		第11回	第1回～第10回の授業の復習		
		第12回	もう一つのAI、Gemini		
		第13回	SNS投稿文の作成、炎上リスクをチェック(Gemini)		
		第14回	AI(Gemini)を使って夏休みの計画を立てる(グループワーク)		
		第15回	GeminiとGoogleサービスの連携(1)		
		第16回	GeminiとGoogleサービスの連携(2)		
		第17回	第12～第16回の授業の復習		
	第18回	期末試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

4 組

(講義)		科目名:ビジネスリテラシー I		講師:岩切英隆	
科目概要		ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。			
学習目標		・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ビジネス実務の基本		
		第2回	コミュニケーションスキル I		
		第3回	コミュニケーションスキル II		
		第4回	チームワークとリーダーシップ		
		第5回	ビジネスマナーとエチケット		
		第6回	ビジネス文書作成 I		
		第7回	ビジネス文書作成 II		
		第8回	問題解決スキル I		
		第9回	問題解決スキル II		
		第10回	プレゼンテーションスキル I		
		第11回	プレゼンテーションスキル II		
		第12回	プレゼンテーションの練習		
		第13回	時間管理と優先順位付け		
		第14回	ファイナンスリテラシー		
		第15回	顧客対応と営業スキル		
		第16回	プロジェクトマネジメント I		
		第17回	プロジェクトマネジメント II		
	第18回	総括と復習			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:リテールマーケティング		講師:岡野 純司	
科目概要		流通の役割や商品の流通経路、現代の流通の特徴など大きなテーマから、店舗販売の各業態の役割と仕組み、チェーンオペレーションの種類と仕組み、商業集積、無店舗販売、電子商取引などの役割と仕組みなどについて、基本的な内容を学ぶ。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は小売企業で経理、総務分野の管理職としての実務経験のある講師が担当する。			
学習目標		流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	流通の役割①:必要性など		
		第2回	流通の役割②:小売業・卸売業		
		第3回	商品の分類		
		第4回	商品の流通経路		
		第5回	現代の流通の特徴		
		第6回	販売形態の種類と特徴		
		第7回	店舗販売と無店舗販売		
		第8回	店舗販売の業態①:一般小売店・百貨店		
		第9回	店舗販売の業態②:総合スーパー・食品スーパー		
		第10回	店舗販売の業態③:専門店・ホームセンター・ドラッグストア		
		第11回	店舗販売の業態④:コンビニエンスストア		
		第12回	店舗販売の業態⑤:ディスカウントストア・均一価格店・無人販売		
		第13回	チェーンオペレーション①:定義、ボランタリーチェーン		
		第14回	チェーンオペレーション②:フランチャイズチェーン、レギュラーチェーンなど		
		第15回	商業集積		
		第16回	無店舗販売		
		第17回			
	第17回	店舗販売と無店舗販売の競合			
	第18回	電子商取引			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(演習)	科目名: オフィスソフト I		講師: 高橋 直子
科目概要	この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集、フォーマット設定から、表や画像の挿入、テンプレートの活用方法まで、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者から中級者を対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。		
学習目標	Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 効果的な文書作成のためのフォーマットやスタイルを適切に活用できる。 表、画像、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	授業	回数	授業内容
		第1回	基本的な操作
		第2回	書式設定①
		第3回	書式設定②
		第4回	ページレイアウトとセクション設定
		第5回	表の作成と編集①
		第6回	表の作成と編集②
		第7回	リストの管理
		第8回	図やテキストボックスの挿入
		第9回	図やテキストボックスの書式設定など
		第10回	復習
		第11回	参考資料の作成
		第12回	ヘッダーとフッターの詳細設定
		第13回	文書の管理、印刷設定とエクスポート
		第14回	文書の校閲と共有
		第15回	総復習①
		第16回	総復習②
		第17回	総復習③
		第18回	試験対策
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもって来ること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

2025年度 前期

2025年度 前期

(講義)	科目名:キャリアデザイン I (入門)		講師:仁井田和也	
科目概要	キャリアデザイン I は、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標	日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	キャリアデザインの重要性和授業の進め方	
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待	
		第3回	日本の社会の会社	
		第4回	職業と職種とその特徴	
		第5回	日本の所得水準と社会福祉	
		第6回	近年日本の就職状況	
		第7回	就職に活動に関する事情	
		第8回	キャリアゴールの設定方法	
		第9回	効果的な目標設定	
		第10回	キャリアパスの構築	
		第11回	就職ための各種資格	
		第12回	日本の就職活動について	
		第13回	基本的な履歴書の作成	
		第14回	職務経歴書の作成	
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解	
		第16回	自己分析の手法をツール	
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見	
	第18回	自己分析シートの作成		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもつてくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(演習)		科目名:Webデザイン I	講師:今井克哉
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。	
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。	
教科書			
授 業 計 画	授 業	回数	授 業 内 容
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み
		第2回	HTMLの基本構造
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方
		第4回	リストとリンクの作成
		第5回	画像とメディアの挿入
		第6回	表の作成
		第7回	フォーム作成の基本
		第8回	CSSの基本
		第9回	テキストスタイリング
		第10回	ボックスモデルの理解
		第11回	背景デザインと色彩の設定
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)
		第13回	フレックスボックスの導入
		第14回	簡単なWebページ制作演習
		第15回	HTML5の新しい要素
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性
		第17回	
		第17回	前期まとめ演習
		第18回	試験対策
	試 験	第19回	期末試験
成 績 評 価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備 考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)	

2025年度 前期

2025年度 前期		(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。					
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる					
教科書		プリントなどを配布します。					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容				
		第1回	オリエンテーションと自己紹介				
		第2回	発達心理学: 発達の考え方				
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション				
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成				
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害				
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援				
		第7回	コミュニケーションのはじまりと言葉の獲得				
		第8回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)				
		第9回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)				
		第10回	性格と人間関係(1)				
		第11回	性格と人間関係(2)				
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期				
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく				
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく				
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期				
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)				
		第17回	友人関係・恋愛関係(2)				
	第18回	期末試験の準備					
	試験	第19回	期末試験				
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。				
	期 末 試 験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。				
	授 業 内 評 価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。				
備考		①遅刻・欠席をしないこと。					
		②筆記具を必ずもってくること。					
		③指定された座席で受講すること。					
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。					
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。					

(講義)		科目名:ITストラテジー I		講師:深谷高史	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を推進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
		教科書		[令和7年度]いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集(SBクリエイティブ)	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験の概要と勉強方法		
		第2回	企業活動		
		第3回	企業の責任		
		第4回	経営資源		
		第5回	経営組織		
		第6回	業績分析と業務計画		
		第7回	経営者の意思決定と問題解決手法		
		第8回	損益分岐点		
		第9回	財務諸表と5つの利益		
		第10回	3つの知的財産権		
		第11回	産業財産権とその他の権利		
		第12回	セキュリティ関連法規		
		第13回	労働関連法規と取引関連法規		
		第14回	その他の法律		
		第15回	標準化		
		第16回	経営戦略とSWOT分析		
		第17回	倫理規定と標準化		
	第17回	PPM(Product Portfolio Management)			
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと			
		②筆記具を必ずもってくること			
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:伊東 秀幸	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	基礎理論その1 離散数学		
		第3回	基礎理論その2 応用数学		
		第4回	基礎理論その3 情報に関する理論		
		第5回	基礎理論その4 データの構造		
		第6回	基礎理論その5 アルゴリズム		
		第7回	基礎理論その6 プログラミング・プログラム言語		
		第8回	基礎理論その7 マークアップ言語		
		第9回	コンピュータシステムその1 プロセッサ		
		第10回	コンピュータシステムその2 記憶装置		
		第11回	コンピュータシステムその3 出力デバイス		
		第12回	コンピュータシステムその4 システムの構成		
		第13回	コンピュータシステムその5 システムの評価指標		
		第14回	コンピュータシステムその6 OS(オペレーティングシステム)		
		第15回	コンピュータシステムその7 ファイル管理		
		第16回	コンピュータシステムその8 オフィスツール		
		第17回	コンピュータシステムその9 OSSとハードウェア		
	第18回	まとめ、試験対策			
	成績評価	試験	第19回	期末試験	
出席率			30点	期末試験の出席は、1回分に含みません。	
期末試験			40点	30%以上の得点を取らないと、不合格になります。	
備考	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどが優れていると、点数が高くなります。		
	①遅刻・欠席をしないこと。				
	②筆記具を必ず持って来ること。				
	③指定された座席で受講すること。				
	④授業に集中し、授業に関係がない動作をしないこと。				
	以上のルールに従わない場合は、厳しく対応する（欠席として扱うこともあり、注意すること）。				

2025年度 前期

(講義)		科目名: SNS I		講師: 若林 優哉	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から実践的な活用方法まで学習します。主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深めます。また、ビジネスや社会活動におけるSNSの効果的な活用方法についても学びます。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けることができる ・SNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
教科書		授業でプリントなど配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要		
		第3回	Instagramの特徴について		
		第4回	Instagramのアカウントのコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析		
		第5回	Instagramのアカウントの作成(1)		
		第6回	Instagramのアカウントの作成(2)		
		第7回	Instagramのフィード投稿(1) 画像		
		第8回	Instagramのフィード投稿(2) 画像		
		第9回	Instagramのフィード投稿(3) 画像		
		第10回	Instagramのフィード投稿(4) リール動画		
		第11回	Instagramのフィード投稿(5) リール動画		
		第12回	Instagramのフィード投稿(6) リール動画		
		第13回	Instagramのフィード投稿(7) リール動画		
		第14回	Instagramuのストーリーズ(1)		
		第15回	Instagramuのストーリーズ(2)		
		第16回	Instagramuのストーリーズ(3)		
		第17回	投稿の分析と発表(1)		
	第18回	投稿の分析と発表(2)			
成績評価	試験	第19回	期末試験		
	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
備考	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
	備考	①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
③指定された座席で受講すること。					
④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。					
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(演習)		科目名:画像・動画編集 I		講師:若林優哉	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで、実際の制作プロセスに沿って学習します。			
学習目標		・画像編集ソフトウェア(Canva)の基本操作を習得し、写真の色調補正や加工ができる ・動画編集ソフトウェア(Capcut)を使用して基本的な動画制作ができる			
教科書		授業でプリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	写真の撮影・編集(1)		
		第3回	写真の撮影・編集(2)		
		第4回	写真の撮影・編集(3)		
		第5回	写真の撮影・編集(4)		
		第6回	写真の撮影・編集(5)		
		第7回	写真の撮影・編集(6)		
		第8回	写真の撮影・編集(7)		
		第9回	写真の撮影・編集(8)		
		第10回	動画の撮影・編集(1)		
		第11回	動画の撮影・編集(2)		
		第12回	動画の撮影・編集(3)		
		第13回	動画の撮影・編集(4)		
		第14回	動画の撮影・編集(5)		
		第15回	動画の撮影・編集(6)		
		第16回	動画の撮影・編集(7)		
		第17回	投稿の分析と発表(1)		
	第18回	投稿の分析と発表(2)			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもつてくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(演習)		科目名: AI活用法 I		講師: 西野公啓	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。 (実務を有する講師による授業の補足) 当科目はソフトウェア開発会社にてSEとして携わり、またWEBサイト制作、ECサイト構築、他、IT関連ビジネスを手掛けるIT会社を長年経営し、現在、AIシステム開発を主事業とする会社にてITコンサルを勤める講師が担当する。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
		教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション: AIを使って自己紹介(グループワーク)		
		第2回	AI(ChatGPT)へ自分の情報を与え、相談相手になってもらう		
		第3回	AI(ChatGPT)に語学学習のサポートをさせる		
		第4回	スマホ版ChatGPTアプリ		
		第5回	文章を作るAI(ChatGPT)		
		第6回	画像を作るAI(ChatGPT)		
		第7回	表計算ソフト(EXCEL)とAI(ChatGPT)のコラボ		
		第8回	AI(ChatGPT)を使ってプレゼンの準備		
		第9回	AIを使ってアルバイト面接の練習(グループワーク)		
		第10回	職場で色々使えるAI(グループワーク)		
		第11回	第1回～第10回の授業の復習		
		第12回	もう一つのAI、Gemini		
		第13回	SNS投稿文の作成、炎上リスクをチェック(Gemini)		
		第14回	AI(Gemini)を使って夏休みの計画を立てる(グループワーク)		
		第15回	GeminiとGoogleサービスの連携(1)		
		第16回	GeminiとGoogleサービスの連携(2)		
		第17回	第12～第16回の授業の復習		
	第18回	期末試験対策			
		試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

2025年度 前期

(講義)		科目名: Webサイト I		講師: 若林優哉	
科目概要		Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標		「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。			
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	webサイトとは		
		第2回	webサイトの種類		
		第3回	webサイトの目的と利用方法		
		第4回	webサイトの開発について		
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)		
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)		
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)		
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)		
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)		
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)		
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)		
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)		
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)		
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)		
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)		
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)		
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)		
	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期 末 試 験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授 業 内 評 価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			